



『緊急事態宣言』下において、今後は・・・。

前回の「校長室だより」の発刊は、GW前でした。(執筆に取りかかったのは、4月20日頃からです。)あの頃は、市内での新規感染者数がまだ1桁の日もあり、令和3年度の教育活動正常化への期待感が非常に高く、我々教職員も「今年度こそは！」という強い意気込みで年度をスタートさせていました。

しかし、それからの約1か月間で状況は一変してしまいました。恐れていた「第四波」が現実的なものとなり、全国的にもまた県内・市内においても、感染拡大に歯止めがかからない様子が続いています。今月16日には、岡山県にも『緊急事態宣言』が発出され、事業者等への自粛要請やイベントへの制限策だけでなく、学校現場にも出席停止措置の強化や行事の中止・縮小を求める通達といった制約がふりかかっています。

新年度が始まって2か月も経たないうちの「ブレーキ感」には、少し心が折れそうな気持ちにもなりますが、**昨年度体験したことをよき教訓とし「極力、学びを止めない」を合言葉に、その場その時にできることを考えながら、臨機応変に対応していきたいと考えております。**

短い周期での状況変化が起きるため、長期を見通した判断が難しく、予定変更等のご連絡がぎりぎりのタイミングになってしまうこともあり、保護者の皆様にはご迷惑やご心配をおかけすることもあるかと思えます。文書配布やeこねっと配信などを駆使して、できるだけ丁寧な情報提供に心掛けるつもりです。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「春期の運動会中止…」でも校内で『表現運動・見せ合い会』をしました！

22日(土)に実施予定していた「運動会」が、14日の市教委からの通達で急遽中止になりました。(県下への『緊急事態宣言』の発出や市内の感染状況をふまえると、納得せざるを得ない市教委の決定だと考えています。)

児童にとっては、運動会に向けての練習が本格化していた最中に突然言い渡された「宣告」のようなもので、とても残念に思う気持ちを募らせたことと思います。(我々も、「もう1週早い連絡なら・・・。」という思いになっていました。)それまで積み重ねてきた努力を無駄にさせないためや、子ども達の頑張りを少しでも形あるものとして「節目」をつけさせるために、教職員と相談して、『**表現運動中心の見せ合い会**(「短時間で完結する」「十分に感染対策を講じる」ことを必須条件として)』を実施することとしました。「雨天が続けば実施できないかも・・・」という不安を抱えながらも、梅雨の合間をぬって19日(水)に行うことができました。「密」を避けるために来校者無しでの実施になってしまいましたが、**子ども達はとても生き生きとした表情で演技・競技に取り組んでいました。**限られた画像中心になりますがご紹介したいと思います。

なお、市教委の通達は「5月の運動会を中止すること」でしたので、本校としましては「**秋(10月)への延期**」ととらえております。感染状況が落ち着き、保護者の皆様とともに『**もっと本気モードの子ども達**』の姿を見るのを楽しみにしております。

(低学年の部)

まずは、簡単な『開会式』からスタートしました。前後左右に1～2mの間隔を空けて整列し、代表児童による「頑張る気持ちの宣誓」が行われました。事前に演技・競技の会場準備を済ませていたので、式後にはスムーズにダンスに移ることができました。

「密」を避けての隊形に並び直して、1回目のダンス演技。「ドラえもん」の曲に合わせてリズムよく体を動かしました。

続いて、各クラスが2つずつのチームに分かれ、それぞれの的をめがけての『**玉入れ合戦**(2回戦ずつ)』を行いました。1年生も2年生も、とても上手に玉を放り込み、白熱した接戦でした！

最後に、締めくくりの2回目のダンスを力いっぱい演じて終了しました。退場するときには、満足気な表情がたくさん見られました。



(中学年の部)





中学年も、『ミニ開会式』からの始まりでした。代表児童のせりふの中には「コロナで落ち込みがちな気持ちを、僕たち私たちのパワーで盛り上げよう！」という意味の言葉も入っていて、思わずグッとくる場面もありました。(子どもたちなりに、今の現状を受入れ、前向きに進んでいこうとしている気持ちが伝わりました。)

niziuのヒット曲「メイク・ユー・ハッピー」に合わせての『縄跳び表現』を、隊形を変えながら演じました。音楽に合わせての定型の跳び方に、一人ひとりが挑戦する個人技を組み合わせでの演技でした。

演技後の全員挨拶もとても立派で、それまでの練習の成果を発揮できた充実感や達成感が漂っていました！



(高学年の部)

高学年は今年、本校の伝統演技である『組体操とソーラン節の混合演技』に取り組みました。

代々引き継がれている「黒T」に身を包み、きびきびとした動きと力強さを全身を使って表現することができていました。(練習時間も短かったのに、よくここまで仕上げました！)

昨年度と同様に、接触技を回避しての『一人技のみの組体操』に、飛沫予防のための『かけ声無し』のソーラン節と、正にコロナ禍ならではの演技となりました。それでも、子ども達が心を一つにして協力しながら目標に向かって取り組んできた姿は、決して色あせるものではないはずです。拍手喝采！



← 見学隊形

屋外ではありましたが、全校の児童が集まったの会ということで、待機場所でも、前後左右に約2mの間隔を取りました。

今回は、原則マスク着用での実施にもしました。



翌月以降の教育活動について

昨今の報道では、「緊急事態宣言(現行：31日まで)」の延長論がささやかれており、6月から1学期末までの教育活動については、はっきりとした見通しがもてないというのが正直なところです。

宣言が延長されれば、少なくとも宣言期間中においては、現行と同様のかかり厳しい制限・制約(校外学習の延期や中止・感染リスクの高い教育活動の延期や中止・外部講師や保護者を招いての催しの延期や中止・本人や同居ご家族の体調不良による出席見合わせ要請等)が継続になることを想定しておいてください。